

特別養護老人ホームユーアイの家

法人名	社会福祉法人 ユーアイ村
サービス種別	介護老人福祉施設
所在地	茨城県水戸市吉沼町

【生産性向上の取組】**【人材育成に係る取組】**

	介護ロボット・ICT 機器等の導入，業務改善等による業務負担の軽減	悩み，不満，不安などを上司以外に相談できる担当者・相談窓口の設置
主な課題	夜勤業務の身体的，精神的な負担を軽減し，介護職員が安心して勤務できるように「見守り機器」を導入し，介護職員の離職率を下げたかった。	直属の上司との定期面談の方法等について悩んでいた。 また，スタッフが「何を話しても大丈夫」という「心理的安全性」が必要だと感じていた。
取組開始時期	令和4年4月頃～	令和4年11月頃～
取組内容	① 複数の見守り機器の会社にデモ使用を依頼し，実際に現場で使用した。 ② カメラの起動基準，センサーの種類の多さ，アプリの使いやすさ，価格などを検討した上で機器を決定した。 ③ ユニットリーダー会議，各ユニット会議を通して，導入する目的・機器の内容を説明し，実際に機器が設置されてからは，担当者が操作・トラブルシューティングマニュアルを作成した上で，実際に現場の困ったことに対応した。また，IT 機器が苦手な職員向けのフォローも定期的に実施することとした。 ④ ベッド・人感センサーだけではなく，段階的に各居室にカメラを設置をした。また，見守り機器を使用しながら，記録業務などが行えるようモニターを増設した。	① 定期面談（6月，11月）を「上司からの上意下達面談」ではなく「部下の話を聴く面談」にするための研修を管理職，相談員，主任など向けに実施した。 ② 定期面談を，職員側から面談相手を選べるように変更し，同時に「聴く面談」であることを職員に周知した。 ③ 定期面談以外で，「外部の面談者（コーチングのコーチやキャリアコンサルタントなど）」と2週間に1回のペースで6～12回，オンライン面談が実施できる機会を提供した。 ④ 面談後には職員からのフィードバックに基づき，適切な面談ができているかモニタリングを実施した。
取組前後の成果指標	① 夜間の休憩時間（1時間）が十分確保されていると回答 0%→26.90% ② 職員アンケートで業務が「大変楽になった」，「楽になった」と回答 10.30%→72.80%	① 直属の上司以外との面談実施 0人→56人 ② 外部の面談者による面談実施回数 0回→66回 ③ 面談後のアンケートで「大変満足」，「満足」と回答 59%→88%